

# #NICE

Numazu association for International Communications & Exchanges

発行日 2026年3月1日  
発行者 NICE沼津国際交流協会  
(企画広報部会)  
所在地 沼津市御幸町16番1号  
(事務局) 沼津市役所地域自治課内  
☎055-934-4717  
FAX055-931-2606  
<https://www.nice-numazu.org/>



## ともに創る、多文化の輪



2026年1月25日(日)国際交流フェア開催

## 岳陽部会

### 第九回中秋のつどい

10月5日(日)『子どもの遊び王国in沼津』が開催され、岳陽部会は協力団体として参加しました。

『子どもの遊び王国in沼津』は「子どもが見て、聞いて、触って、体を動かすことのできる様々な遊びを創造し、親と子がともに遊びを体験できる場所とする。また、遊びの楽しさ大切さを見つめなおす…」という目的の沼津市恒例のイベントです。

沼津国際交流協会の他にも、沼津警察署・駿東伊豆消防本部・サッカーのアスルクラロスポートクラブ等々が協力団体として参加していました。協力団体のコーナーでは、ちびっ子たちがパトカーに乗り点滅灯をつけサイレンを鳴らしたり、消防車に乗りホースのノズルを持ちポーズをとって構えたり、嬉々として走り回ってサッカーボールを蹴ったり、みな満面に好奇心を表し、わくわくしていました。

岳陽部会は毎年「中秋のつどい」事業として参加し、今年は愛鷹広域公園テニスコートにて、子どもたちに人気の恒例の「凧揚げコーナー」と「輪投げコーナー」を担当しました。

両コーナーには子どもたちが何十人も並び順番待ち。はしゃぎ声、笑い声、そこには子どもたちの笑顔で溢れていました。

#### 「凧揚げコーナー」

凧糸をつかみ取り走り出す子どもたち。上手に操って高く凧を揚げる子、お父さんやお母さんの手を借りる子、途中で失速して転んで涙す



THANK YOU  
110  
ANNIVERSARY

旅の申し込みは日本旅行  
沼津営業所へ(土日祝休)  
055-929-1960  
日本旅行

る子、きっと心の中はカオス状態。でも大丈夫、大人はそばで見守っているよ！みんな一生懸命走りました、頑張りました。

#### 「輪投げコーナー」

9本のピンには1から9までの数字が書かれていて、大きな数字が書かれたピンに輪が入れば大歓声、ミスってがっかりしても、両手で輪を持ってちょこちょこ、ピンの上で手を離す、可愛くて、大爆笑…。

子どもたちには、参加賞として小さな袋菓子



のご褒美を渡しました。「ありがとう」の言葉とともにペコリとお辞儀をされると、2つでも3つでもあげたい気持ちになりました。

スタッフには、中国・インドネシア・タイの若者たちも手伝いに来てくれて、賑やかに、華やかに、楽しく、子どもたちや親御さんたちと接することができました。大盛況でした。



## 岳陽部会

### 日本と中国の漢字を楽しもう！

2025年12月20日(土)、サンウェルぬまづの大会議室にて、沼津国際交流協会が(公財)笹川平和財団と共催で、ワークショップ『日本と中国の漢字を楽しもう！』を開催しました。

参加者は小学校4～6年生を中心に計19名、司会と講師は『中国文化講座』を長年担当してくださっている高橋恵子先生で、子どもたちの発表後に講評を担当する講師も2名参加してくださいました。また、笹川平和財団からは本やおやつなどの提供をいただきました。

ワークショップの前半はスライド(写真や絵)を使った中国の紹介から始まり、その後、漢字の成り立ちと中国語の簡体字について学びました。簡体字は書きやすさと覚えやすさも考えたものだという説明があり、また、中国語は漢字で表記するため、日本語のひらがな・カタカナのように読みを示す文字はなく、発音は拼音(ピンイン)で示すとのことで、日本語との違いを分かりやすく教えてもらいました。

簡体字の作り方はいくつかパターンがあるそうので、草書のように崩した形を採用する方法、字の一部分を簡単な形に置き換える方法、画数の多い部分を減らす方法、同音の字を使って「音」を優先して置き換える方法、といった内容が紹介されました。「廣→広→广」のように、字が少しずつ簡単になる例も教えてもらいました。

また、日本のアニメの名前当ても行い、「哆啦A夢(ドラえもん)」、「櫻桃小丸子(ちびまる子ちゃん)」、「名偵探柯南(名探偵コナン)」などが簡体字で出され、子どもたちは手を挙げて次々



**羽野水産**  
http://www.hanosuisan.co.jp

に答えていました。会場も盛り上がり、日本のアニメが中国でも親しまれていることが伝わる内容でした。

ワークショップの後半は、子どもたちによるオリジナル漢字の創作を行いました。創作中は講師が各テーブルを回って声をかけながらサポートし、子どもたちは考えた漢字をまとめて最後に色紙に書き仕上げました。絵を入れたものや好きなものを題材にしたもの、簡体字の作り方を参考にしたものもあり、また、一文字だけでなく複数個作った子もいました。完成後は一人ずつ発表し、こだわりや工夫を説明しました。発表の後には、講評を担当する講師から一人一人にコメントがあり、どんな点を見ているのかに加えて、創作の過程にも触れていて興味深かったです。



子どもたちが自分から手を挙げて発言していた積極的な様子と、短い時間でオリジナル漢字を作って発表までしていたことが印象的でした。オリジナル漢字を見て、子どもたちの発想力に驚かされ、また、自分が同じ課題をやるとしたら簡単には思いつかないだろうし、頭の体操にもなりそうだとも思いました。学んだ内容をその場で使ってみる時間があつたのも面白く、私は見守る立場でしたが、話を聞いていて楽しくあつという間の2時間でした。

運営スタッフは設営から進行・片付けまで連携が取れていて、声をかけ合って動いており、講師の高橋先生や笹川平和財団の担当者からも、有意義なワークショップで大成功だったという感想をいただきました。



## ふれあい部会

### 国際スポーツ交流会

2025年11月9日(日)、沼津市立第二中学校体育館をお借りしてNICEふれあい部会主催の国際スポーツ交流会が開催されました。当日は生憎の雨模様でしたが、外国人24名、日本人27名(内、見学者2名)、協会員20名の総勢71名にご参加いただき、言葉や年齢の垣根を超え、様々なレクリエーション競技を通じて多文化交流を体感する大変有意義な機会であったと思います。



競技内容は、関所破り(じゃんけんゲーム)・メデシンボール・綱引き・紅白玉入れ・障害物パン取りリレーの五種が行われました。



私達日本人には馴染みの深いものばかりです。外国人の方々には母国で体験したことがないものが多く戸惑いもあったと思いますが、参加者全員が笑顔で時に歓声を上げながら楽しんでいる様子は私達協会員にとって嬉しい限りでした。特に綱引き・紅白玉入れでの盛り上がりは凄かったです！



「国籍を超えた交流が出来た」「今まで一度も経験のないスポーツで面白かった」「初参加だったが、とても楽しかった」等々のメッセージを日本人、外国人双方から頂きました。正に「開催して良かったな」と思う瞬間でした。

これからも市内在住の外国の方々との交流・ふれあいの場を設けていきたいと思えます。皆様の協会活動へのご参加をお待ちしています。



会員増強運動実施中！！  
 **沼津商工会議所**  
 TEL 055-921-1000 FAX 055-921-1105

## 国際理解教育部会

### 2025年度NICE にほんごスピーチコンテスト

例年通りに2025年度NICEにほんごスピーチコンテストが11月8日(土)に開催されました。

今年度は欠場者もなく6カ国28名の中から選考し、15名の素晴らしいスピーチを聞くことができました。

年々応募者のレベルが上がる中、見事に第1位を手にしたのは、ダヴィナ・アンジェリカさん(インドネシア)「乖離、そして私が思う日本」。とても流暢にスピーチされている姿は堂に入りており驚きました。



第2位 ウィン・ニェイン・エーさん(ミャンマー)「まだできないだけ」、第3位サリ・ムラティさん(インドネシア)「日本をきっかけに学ぶのが好きになってきました」、審査員特別賞



チャン・ヴァン・ヒュウさん(ベトナム)「夢を追いかけることは、時に静かな自分との戦いです」、審査員特別賞朱金花(シュキンカ)さん(中国)「時間との競走」、

以上が入賞者です。

交流会では、審査員特別賞のチャン・ヴァン・ヒュウさんが自作の竹製横笛の素敵な演奏を披露してくれたり、友達のスーピーチを応援しに聴講に来てくれた外国人の方達にも日本語で話をしてもらったりと、大変楽しく有意義な時間を共有することができました。



### 2025年度第2回ミングリングパーティー

沼津御用邸記念公園において実施し、2名のボランティアガイドの説明を聞きながら、参加者は2組に分かれて見学・散策しました。



9月27日(土)残暑が続く中、外国人12名、日本人9名、ボランティア・子どもを含めて21名が参加しました。集合は沼津駅とし、

バスに乗って御用邸記念公園へ移動するところからスタートしました。

園内および御用邸内では、ガイドによる丁寧な説明を受け、参加者はわからないところを積極的に質問するなど、高い関心と理解を深めようとする熱心な姿勢がうかがえる見学会となりました。



今年度最後のミングリングパーティーは1月31日(土)に開催し、静岡県立三島北高等学校を訪問しました。当日は、高校生が点ててくれたお抹茶を頂きながら、日本の伝統文化に触れてもらいました。日本の学校をよく知らない外国人参加者にとっては、抹茶体験はもちろんのこと、日本の学校にも大きな関心があるようでした。詳細は、次号で報告予定です。



## カラマズー部会

### 2025年度NICE後期英会話教室

期間 9月11日～11月13日（全10回）

毎週木曜日19:00～20:30

場所 沼津市民文化センター

今期も中学生から高齢者まで、18名の受講生が参加しました。リピーターも多数おり、1シーズン3000円という受講料はカラマズー部会の愛を感じます。また、NICEオリジナルテキストも新たに改定され、より楽しく使いやすく学べる工夫が随所につまっています。



後期は姉妹都市アメリカ・ミシガン州カラマズー市でのホームステイを想定し、現地で実際に使える表現や語彙を学びます。講師はオーストラリア出身のジョシュア・リーチさんです。



先生の日々の気付きやスモールジョークを交えながら、オールイングリッシュで授業が始まります。授業は、初級レベルに合わせた会話とアシスタントスタッフによる通訳を組み合わせながら進められます。

受講生の発音やフレーズを聞き、オーストラリアの表現やブリティッシュの発音、アメリカ式の発音など日本人が気づきにくいポイントについてもわかりやすく伝えてくれます。受講生は、恥ずかしがりやの日本人気質の方が多く、発表のボランティアは選択制か全員です。先生は一人ひとりの会話に耳を傾け、コメントを返していただき、和やかな雰囲気での授業となっています。



## 国際交流フェア

2026年1月25日(日)プラサヴェルデにて国際交流フェアが開催されました。



会場には、岳陽部会、カラマズー部会、当協会のブースを出展し、ペルー、フィリピン、イラン、トルコ、フランス、インド、キューバ、ベトナム、パキスタン、日本語学校、日本文化など、世界各国のブースがずらりと並び、訪れた人々を楽しませていました。



ステージでは民族舞踊が披露され、華やかでにぎやかな雰囲気に包まれました。

今年も様々な外国文化に触れる楽しい催しとなりました。運営に携わった皆さまに感謝申し上げます。

### 2026年度沼津国際交流協会 総会のお知らせ

- ・日時 5月31日(日)  
14:00～15:30 (受付13:30～)
- ・会場 沼津市民文化センター  
2階 大会議室  
住所：沼津市御幸町15-1  
TEL：055-932-6111

※駐車場の台数に限りがあります。

なるべく公共交通機関でお越しください。

※当日受付にて会費を納めることができます。



沼津国際交流協会の活動は  
HPでご覧いただけます。

☞こちらから